



第460回 平成28年4月14日(木)

テーマ▶「花一輪運動」

講師 一般社団法人 倫理研究所
理事 藤麻一三氏



倫理の学びの七つの法理の一つ、「全個皆完の原理」は、私の前に現れる事象は「すべてこれが良いと受け止めること」。また倫理では「心が先行する」と云われるが、これはどういう気持ちでその事を受けるかによって結果が違ってくる。

創業65周年になる3代目の私の仕事は、事業を4代目に継承することだと考えている。そのためには、お客様を維持し、そして増やしてゆくこと。努力することは、①ご来店のお客様が再び来店する頻度を上げる。②評判の良さから口コミで増えるお客様を増やすこと。

そのために会社全体がやることは「ご利用のお客様が“満足して喜んでいただくサービス”の提供」、別名「感動の花一輪運動」と名付けて現在展開中です。来店されたお客様が感動するのは、「期待値以上のおもてなし」を受けた時。これは他店との比較ではなく当店の基準値に心に響くサービスを1つでも上乘せすること。

お客様を増やし続ける努力をこれからも続けて、4代目にバトンを渡し、その結果ご先祖様に喜んでいただきたいと思ひます。

文責 岩崎

第461回 平成28年4月21日(木)

テーマ▶「実践で学ぶ(勤労歓喜)」

講師 所沢市倫理法人会 会長
株式会社カモイ
代表取締役社長 鴨井保夫氏



私は「約束をまもる」「悪口をいうな」という両親の教えの下新潟で高校まで育ちました。

卒業後丸井に入社、妻とは高校の同級生で就職先も一緒でした。兄弟の事故により保険代理店業を始め、高校及び丸井と一緒にいた女性がクリーニング会社の経営者に嫁ぎその数十店舗の保険をいただきました。しかしそのクリーニング店が火災事故を起し2年以上にわたりお客様との損害賠償の交渉、そして2億円の損害賠償金、もうだめかと思った時期もありました。

倫理との出会いは妻が入会し一緒に懸命に行っていましたが、ある時妻から倫理法人会の会長になるか又は離婚かの選択を迫られ所沢倫理法人会会長になりました。妻とは毎朝挨拶と一緒に握手をしてお互いの健康状態を確かめ合っています。倫理の実践では2度の人命救助をする場面に遭遇しました。最初は川名海水浴場で溺れた大学生に人工呼吸を行い一命をとりとめ2度目は事務所近くの住宅が火災になり2階より女性を救出しました。倫理の学びは家庭づくり、後継者づくり、地域づくりです。これからも笑顔大賞で頑張っていきます。

文責 田中

第462回 平成28年4月28日(木)

テーマ▶「それぐらい自分で考えて行動してくれよ! がなくなる自立考勤型社員が育つ仕組みと教育」

講師 東京都小金井市倫理法人会 幹事
PHP 研究所 講師 辻 騎志氏



ある専門学校で「親との関係」で一番傷ついた記憶は何ですか?と聞いてみたら他者と比べられたことが80%を超えていました。

私たち親の世代は子供に頑張らして欲しいからこそ兄弟や同級生などを引き合いに出しているのですが、その愛情はほとんど正しく伝わっていないのです。私の父もそうでした。私は小学3年の時に父から「お前は将来うちを継いで社長になるのだから、リーダーシップのある経営者になれるよう勉強しろ!」と言われました。真面目な私は小学校3年生の時から経営やリーダーシップ関係の本をよく読んでいたちょっと変わった子どもでした。ところが父の会社に入社する頃には予備知識で頭は完全に出来上がっていたため、父のやり方や社員の行動が全く気に入らず、衝突ばかりでした。その頃PHP研究所から声がかかり、講師の仕事も引き受けることにしました。子どもは親と全く同じ考え方になる場合と全く逆の考え方になるパターンがありますが、では私の祖父はどんな人で父にどんな教育をしたのかと思い調べてみたのです。やはり祖父は全く親らしいことをせず、父が兄弟を育てたようなものだったそうです。だから自分の子どもには親らしくいろいろやってやりたいと考えるようになったのですね。

「全てを知ることは全てを許すこと」という心理学の考え方がありますが、まさにそれです。父に「あなたの息子に生まれてよかった。」と伝えることができたのです。おかげで仲も大変良くなりました。皆さんは社員を愛していますか?その愛はちゃんと伝わっていますか?一人一人をきちんと個別に見ていますか?物的、心的、生理的欲求を満たす自己肯定感を社員さんに与えられていますか?社員に悪さをさせない愛のある強い心の仕組みづくりが大切です。

社長は徳と高い人間力を持った皆のお手本になって良い会社を作ってください。

文責 出川

平成28年4月13日(水) 入間市倫理経営講演会 盛会のうちに終わる

テーマ「岐路に立つ」
—いま、求められる経営者の気骨—
《会場:入間市産業文化センター》



講師:一般社団法人 倫理研究所 理事
藤麻 一三氏



講師:北海道倫理法人会 副会長
三澤 龍子氏